

2021年6月28日

国立循環器病研究センターにてインターベンショナルラジオロジー（IVR）に従事された医療従事者様

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2006年1月1日から2024年12月31日の間に、当院委託業者(2021年4月時点では千代田テクノル)より支給される不均等被曝モニター用ガラスバッジおよび水晶体被曝に特化したモニター（2021年4月時点ではドジリス：千代田テクノル）を装着し IVR を施行した国立循環器病研究センターに所属する医師、診療放射線技師などの医療従事者様

【研究課題名】 Interventional Radiology 従事者における水晶体被曝に関する後ろ向き研究

【研究責任者】 放射線部 林 輝仁

【研究の目的】各循環器疾患に対する治療における水晶体をはじめとした放射線被曝を遡及的に解析していくことにより、放射線防護に対する適切な管理方針を見だし、学会などで発信し、最終的には放射線被曝ガイドライン改訂、追加項目作成などに貢献していくこと。

【利用する情報・資料】

IVR に関わる医療従事者の千代田テクノルから提供される被曝線量報告書および放射線システム（RIS）内に保存されている線量情報、およびカテーテル支援システムと手術記録の情報

観察するデータは診療科、治療対象疾患、検査・治療法、医療従事者、透視時間、放射線被曝線量、造影剤使用量です。

【研究期間】 研究許可日より2026年12月31日(研究終了日)まで（予定）

【個人情報取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用は停止いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 放射線部 担当医師 福田哲也
電話 06-6170-1070(代表)